

## 目的

適切かつ効果的な職業訓練を実施していくため、個別の訓練コースについて訓練修了者等へのヒアリング等を通じ、訓練効果を把握・検証し、訓練カリキュラム等の改善を図る。

## 構成員

埼玉県地域職業能力開発促進協議会の構成員のうち、  
埼玉労働局、埼玉県、独立行政法人高齢・障害・求職者雇用支援機構埼玉支部（※他の構成員の追加可）

## 検証手法

検証対象の訓練分野を選定し、当該分野の訓練コースの対象へのヒアリングを行い、その結果から、訓練効果等に関して検証し、改善促進策（案）を検討。

## 具体的な進め方

- ① 埼玉県地域職業能力開発促進協議会（地域協議会）で検証対象の訓練分野を選定。
- ② ワーキンググループ（WG）は、選定された分野の中から訓練コースを3コース以上選定し、各コースの対象の3者にヒアリング。（ヒアリング対象：訓練修了者、訓練修了者の採用企業、訓練実施機関）
- ③ WGは、ヒアリング結果を踏まえ、調査した訓練コースを含む分野全体について「訓練効果が期待できる内容」、「訓練効果を上げるために改善すべき内容」を整理。⇒改善促進策（案）を検討。
- ④ WGは、地域協議会に改善促進策（案）を報告し、次年度の埼玉県地域職業訓練計画の策定に反映。

## スケジュール

	令和5年度	令和6年度上半期	令和6年度下半期
中央職業能力開発促進協議会	1月30日 協議会開催	9月頃 協議会開催	1月～2月 地域協議会から検討結果を報告 協議会開催
埼玉県地域職業能力開発促進協議会	3月5日 地域協議会開催 ① 検証対象訓練分野を選定	②	10月頃 地域協議会開催 ③ WGから報告→次年度の計画の策定に反映 2～3月 地域協議会開催 ④
ワーキンググループ（WG）		ヒアリング → 結果整理 → 改善促進策（案）検討 選定分野のうち3コース以上 × 3者（修了者、採用企業、実施機関）	

## 令和 6 年度 公的職業訓練効果検証ワーキンググループ

選定分野 事務局提案 **Ⓐ** 人手不足分野（医療・介護・保育、建設、運輸、保安）

## 選定理由

- 埼玉県内においても人出不足分野の**求人倍率**は高く、**雇用吸収力**が高い。
- この分野の人材確保対策がハローワークにとって目下の**最優先課題**であること。
- 求職者に対する職業訓練による**職種転換支援が効果的**であること。（訓練修了者の高就職率）

## 効果検証対象コース（主なコース）

- 介護サービス科 （公共） 埼玉県
- 介護実務者 （公共） 埼玉県（委託）
- 介護初任者 （公共） 埼玉県（委託）
- 保育士養成科 （公共） 埼玉県（委託）
- 建築科 （公共） 埼玉県
- 電気設備技術科 （公共） ポリテクセンター埼玉
- 就職をめざすインテリアデザインも学べる建築CAD科 （求訓） 労働局

## 令和 6 年度 公的職業訓練効果検証ワーキンググループ

## 選定分野 事務局提案 ㊸ 製造業

## 選定理由

- 埼玉県内の代表的な**地場産業**であること。（金属加工など）
- 職業訓練として技術を習得する意義。（職業訓練以外の方法では習得が困難）
- コースごとに定員充足率、就職率が異なり、それぞれ**改善方策が存在する可能性**がある。

## 効果検証対象コース（主なもの）

- |                  |      |            |
|------------------|------|------------|
| • 機械制御システム科      | (公共) | 埼玉県        |
| • 金属加工科          | (公共) | 埼玉県        |
| • 木工工芸科          | (公共) | 埼玉県        |
| • CAD・NC技術科      | (公共) | ポリテクセンター埼玉 |
| • デジタルものづくりサポート科 | (公共) | ポリテクセンター埼玉 |

※（求職者支援訓練は埼玉県内設定なし）